

平成20年度事務事業評価表	担当	産業環境部 環境課	内線等	1272
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	犬登録狂犬病予防事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	環境衛生	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	犬の所有者に対して
手 段	登録犬の予防注射の接種をすることにより
成果、目標	狂犬病予防を図る

成果指標

成果指標名	予防注射接種率	事業費に対する事業収入率		
成果指標の説明	$(\text{予防注射接種頭数} / \text{登録頭数}) \times 100$	$(\text{犬登録等事務手数料収入} / \text{事業費}) \times 100$		
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)	
成果指標	88.0%	89.8%	92.0%	
成果指標	75.1%	78.8%	82.1%	

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
予防注射接種頭数	4,484頭	4,522頭	4,600頭
登録頭数	5,095頭	5,034頭	5,000頭
犬登録等事務手数料収入	3,959千円	3,774千円	4,031千円

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.45人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級	0.05人	一般職	0.30人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	1,684
	人件費	3,105
	合計	4,789
財源内訳	特定財源	1,684
	一般財源	3,105

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	市が実施するよう法律（狂犬病予防法）で定められている事業。事業費（人件費を含む）に対する犬登録等事務手数料収入は約75～80%であり費用対効果の面から役所の事業としては比較的効率性は高い。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	犬の登録原簿のコンピュータ管理システム化を実施した。狂犬病予防注射の未接種犬の所有者に対し、秋（10月）に注射接種督促のはがきを送付し注射促進を図っている。
現在の課題、問題点	国内で犬にかまれて発症した狂犬病患者は昭和29年を最後に確認されていないが、発症すればほぼ100%の確率で死亡する恐ろしい感染症である。昭和25年に狂犬病予防法が施行され、飼い主の市町村への登録と年1回のワクチン接種が義務化された。しかし、平成19年厚生労働省調査によると国内の登録犬数約674万匹に対し、ワクチンを接種した犬は約510万匹、接種率約75%程度にとどまる。蒲郡市は接種率約90%と全国平均は上回っているものの毎年約500頭の犬が未接種である。
今後の改善計画	狂犬病は、国内で50年以上発症していないが発症すれば死に至る恐ろしい感染症である。このことを広報などあらゆる機会を通して市民に啓発を行い、未接種犬の飼い主に対し接種を促し、併せて、登録されていない犬の登録促進をすることが必要である。（平成19年全国ペットフード協会の調査によると国内犬の飼育犬数推定1252万匹に対し登録犬674万匹、登録率約54%である）